



「緑字決算」を公表します。

地球環境の負荷削減や自然保護活動などの結果を「緑字決算」という独自の指標で公表します。

緑字とは

経済活動の成果を一般的に「黒字」「赤字」と表現することから、環境活動の成果を表現する言葉は何字だろう?と考えた時、環境=緑のイメージから1998年に「緑字(りょくじ)」という言葉が生まれました。以来毎年「緑字決算」として宝酒造の環境活動の取り組み結果を公表しています。

緑字決算とは

「緑字決算」とは、宝酒造のさまざまな環境負荷削減や環境配慮活動の中から重要な項目を選定し、その改善度を“ECO(エコ)”という一つの指標で表したものです。一つの指標で表現するのは、活動の成果が、結果的にどうであったのかを皆様にわかりやすく理解していただくためです。

緑字決算 ECOの算出方法

緑字決算の対象となる10項目は、それぞれ単位が違うためその1年間の成果を単純にたし算する事ができません。そこで、各項目の目標に対する達成率に「重み付け係数」を掛けた「個別ECO」を平均して、緑字決算ECOを算出します。目標を達成できた場合は、“プラスECO”、その逆は“マイナスECO”で表します。なお、緑字決算ECOは、地球環境や社会情勢の変化に対応するため3年ごとにその算出方法を見直しています。

$$\text{個別ECO} = \boxed{\text{各項目ごとの目標達成率}} \times \boxed{\text{重み付け係数}}$$

$$\text{緑字決算ECO} = \boxed{\text{個別ECOの平均値}}$$

2:緑字決算対象項目選定と重み付け投票詳細

環境会計

宝酒造の環境コストは、リターナブルびんシステム維持や中身を消費した後の容器包装のリサイクルを進めるための上流・下流コストのほか、環境マネジメントシステムの運用や活動推進のための管理活動コスト、公害防止コストの割合が高くなっています。そのほかにも、「TaKaRa田んぼの学校」などの環境教育や地球温暖化の防止に貢

献するNPOを支援するなどの社会活動コスト、地球環境保全コスト、資源循環コストなどがあります。

2009年度はCO₂削減のためのエタノールボイラー整備などの地球環境保全コスト、大口配送用コンテナ容器の購入などの上流・下流コスト、屋上緑化や排水監視装置の整備などの管理活動コストが増加しました。

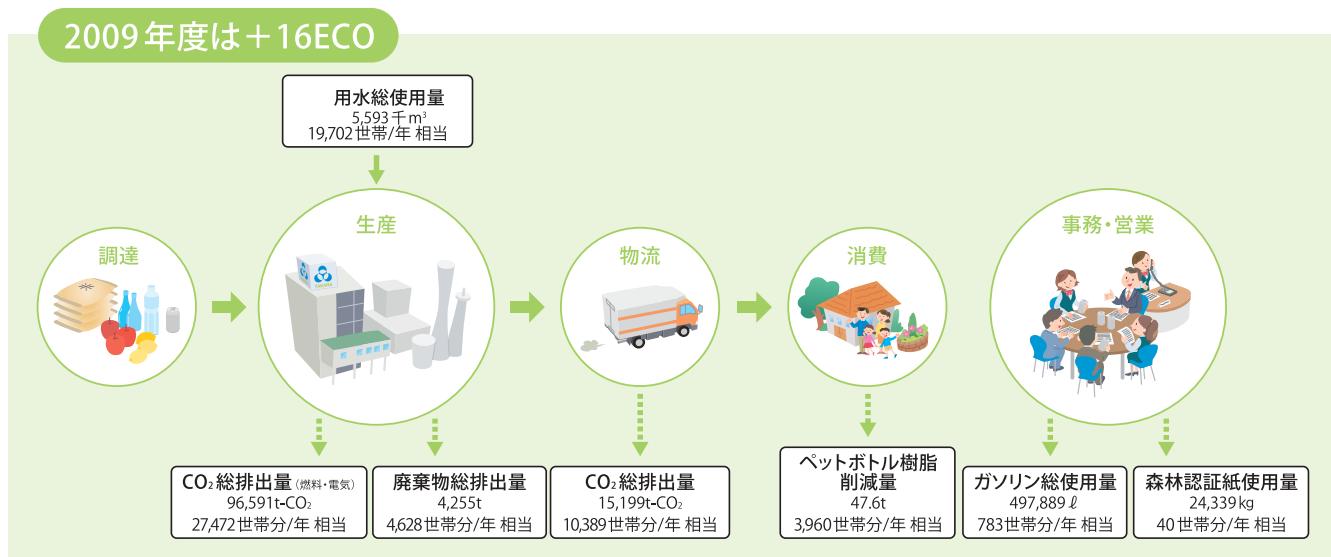
(集計範囲:宝酒造単体、単位:千円)

| 分類 | 主な取り組みの内容 | 2009年度 | |
|---|--------------------------------------|---|----------------|
| | | 投資額 | 費用額 |
| (1) 主たる事業活動により事業エリア内で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(事業エリア内コスト) | | 185,752 | 515,658 |
| 内訳 | ①公害防止コスト | 排水処理設備、ボイラー設備更新、賦課金等 | 44,911 272,161 |
| | ②地球環境保全コスト | エタノールボイラーの設置、蒸気配管の保温、排熱回収設備、冷蔵・冷凍設備の更新等 | 90,342 60,295 |
| | ③資源循環コスト | 飼料化設備、廃棄物リサイクル設備の整備等 | 50,499 183,203 |
| (2) 主たる事業活動に伴ってその上流又は下流で生じる環境負荷を抑制するための環境保全コスト(上・下流コスト) | はかり売り用タンク購入、再商品化委託費用、リターナブルびんシステム維持等 | 31,484 | 284,615 |
| (3) 管理活動における環境保全コスト(管理活動コスト) | 環境マネジメントシステムの整備・運用、環境広告等 | 24,395 | 363,923 |
| (4) 研究開発活動における環境保全コスト(研究開発コスト) | 製品等の製造段階における環境負荷の抑制のための研究開発 | 0 | 384 |
| (5) 社会活動における環境保全コスト(社会活動コスト) | 田んぼの学校運営、ペロタクシー支援、エコプロダクツ展出展等 | 0 | 26,277 |
| (6) 環境損傷に対応するコスト(環境損傷コスト) | 産業廃棄物適正処理推進基金への拠出 | 0 | 47 |
| 合計 | | 241,631 | 1,190,905 |

2009年度の緑字決算結果は、+16ECOです

2009年度は10項目中8項目で目標を達成でき、全体での緑字決算の結果は+16ECOとなりました。プラスECOとなつたのは工場廃棄物排出量の削減や営業車の低排出ガス車への転換が順調に進んだことが主要因です。一方で、目標達

成に向けて活動を推進してきましたが、生産部門用水削減・環境ボランティアの推進については目標に届かず個別ECOがマイナスとなりました。



※その他、社員のボランティア活動、環境配慮型商品の開発および環境コミュニケーション推進も緑字決算の対象としています。

●緑字決算

| 項目 | 生産部門CO ₂ の削減 | 生産部門用水の削減 | 工場廃棄物の排出量の削減 | 物流部門CO ₂ の削減 | 環境ボランティアの推進 | グリーン購入の推進 | 環境配慮型商品の開発 | 環境配慮型商品の販売促進 | 営業車の低排出ガス車導入の推進 | 環境コミュニケーションの推進 |
|--------------|---|---|---|---|--------------------------------|---------------------------|--|----------------------------------|------------------------------|--|
| 評価指標 (単位) | 焼酎換算製品 製造量あたりの CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /kℓ- 25%alc) | 焼酎換算製品 製造量あたりの 用水使用量 (m ³ /kℓ- 25%alc) | 焼酎換算製品 製造量あたりの 廃棄物排出量 (kg/kℓ- 25%alc) | 製品販売量 あたりのCO ₂ 排出量 (kg-CO ₂ /kℓ) | 社員の環境 ボランティア 参加人数 (人) | 森林認証された 用紙の使用量 (kg) | 環境配慮型の 工夫組みを 持つ商品の 開発品数 (品目) | 「はかり売り」 実施店新規開拓 店舗数 (店) | 営業車の 低排出ガス車 導入率 (%) | 環境啓発冊子 リサイクル ロードの 配布部数 (部) |
| 2009年度目標 | 173 | 9.42 | 9.76 | 41.1 | 723 | 24,176 | 2 | 10 | 35 | 3,500 |
| 2009年度実績 | 169 | 9.78 | 7.44 | 40.2 | 635 | 24,339 | 3 | 12 | 52 | 3,678 |
| 目標達成率(%) | +2.6 | -3.7 | +31.2 | +2.2 | -12.0 | +0.7 | +50.0 | +20.0 | +48.6 | +5.1 |
| 重み付け係数 | 1.16 | 1.09 | 1.29 | 1.11 | 0.76 | 0.90 | 1.07 | 1.07 | 1.06 | 0.56 |
| 個別ECO | +3.1 | -4.0 | +40.2 | +2.4 | -9.1 | +0.6 | +53.5 | +21.4 | +51.5 | +2.8 |

焼酎換算製品製造量：宝酒造では生産時の環境負荷の異なる多様な製品を生産していることから生産部門の指標の原単位分母には、焼酎（アルコール度25%）に換算した量を用いています。

| |
|---------------------------------|
| 2009年度緑字決算 緑字決算ECO=個別ECOの平均値 |
|---------------------------------|

3:環境データ算出方法 4:過去の緑字決算結果

+16ECO